

中央新幹線（東京都・名古屋市間）に関する
補正後の環境影響評価書（長野県）の作成のポイント

平成 26 年 8 月 26 日
東海旅客鉄道株式会社

1. 建設発生土の有効利用について、発生土活用先の候補地情報を記載しました。

- ・ 長野県及び関係市町村のご協力を頂き7月7日に事業者へ提示のあった、「リニア中央新幹線建設発生土 市町村等から提案のあった活用の可能性がある事業リスト」を資料編に記載しました。
- ・ リスト受領後、候補地について関係自治体等へヒアリングさせて頂きました。現在、当社において、ご提示いただいた候補地の中から、規模・地形、周辺環境、運搬距離、行政手続きの有無、環境への配慮などの観点に基づき、優先順位を考えながら、発生土置き場の絞り込みを行っています。
- ・ 「ストックヤード」の活用などによる工事用車両の1日当たりの発生台数の調整について、資料編やあらましに図を追加し分かりやすく記載しました。

2. 大鹿村内における地形・地質調査結果の詳細について、資料編に記載しました。

- ・ 大鹿村内の路線及び施設は、地形・地質調査結果や専門家の意見を踏まえ安全性の高い場所を選定しており、地形・地質調査結果の詳細については、資料編に記載しました。

3. 大鹿村釜沢地区やミゾゴイ、ブッポウソウ、沢周辺の動物などについて確認のための調査を実施するとともに、これまでの調査結果を記載しました。

- ・ 知事意見等を踏まえ、大鹿村釜沢地区や大鹿村のミゾゴイ確認場所近傍、中川村の県道59号四徳大橋周辺、山岳トンネル上部の沢周辺等において確認のための調査を実施しており、これまでの調査結果を資料編に記載しました。
- ・ 引き続き調査を実施するとともに、調査結果を踏まえ、必要によりモニタリングを行い、生息環境へ影響を及ぼす可能性がある場合は環境保全措置を実施していきます。

4. 猛禽類に対する環境保全措置の取り組みを具体的に記載しました。

- ・ 環境大臣意見を踏まえ、オオタカ(喬木村ペア)、クマタカ(大鹿村Aペア、Bペア、Cペア)に対する環境保全措置の取り組みを具体的に記載しました。
- ・ 今後は、工事開始までの継続的な確認調査及び事後調査を実施して生息状況の確認を行い、工事に対する影響の程度を把握し、専門家等の助言を踏まえ、環境保全措置を検討していきます。

※詳細については、別紙をご参照ください。

1. 発生土の有効利用について、発生土活用先の候補地情報を記載しました。

長野県内における発生土活用先として、平成26年7月7日に開催された「リニア中央新幹線建設発生土活用関係自治体会議」において事業者へ提示のあった「リニア中央新幹線建設発生土 市町村等から提案のあった活用の可能性がある事業リスト」を資料編に記載しました。

(評価書資料編【長野県】環 18-5-1 ページ)

長野県内における発生土活用先リスト

資料 3

リニア中央新幹線建設発生土
市町村等から提案のあった活用の可能性がある事業リスト

長野県リニア推進振興室

地域	市町村等	土量の目安(単位: m ³)			事業
		~10万未満	10万以上~ 100万未満	100万以上~	
上伊那	駒ヶ根市	○			公共事業
	県伊那建設事務所		○		公共事業
飯田・下伊那	飯田市			○	公共事業、窪地の埋立て
	松川町			○	公共事業、窪地の埋立て
	阿南町		○		窪地の埋立て
	阿智村		○		窪地の埋立て
	下條村			○	窪地の埋立て
	喬木村	○			窪地の埋立て
	豊丘村			○	窪地の埋立て
	大鹿村	○			公共事業
	県飯田建設事務所		○		公共事業
木曾	木祖村	○			窪地の埋立て
計	10市町村・2建設事務所				

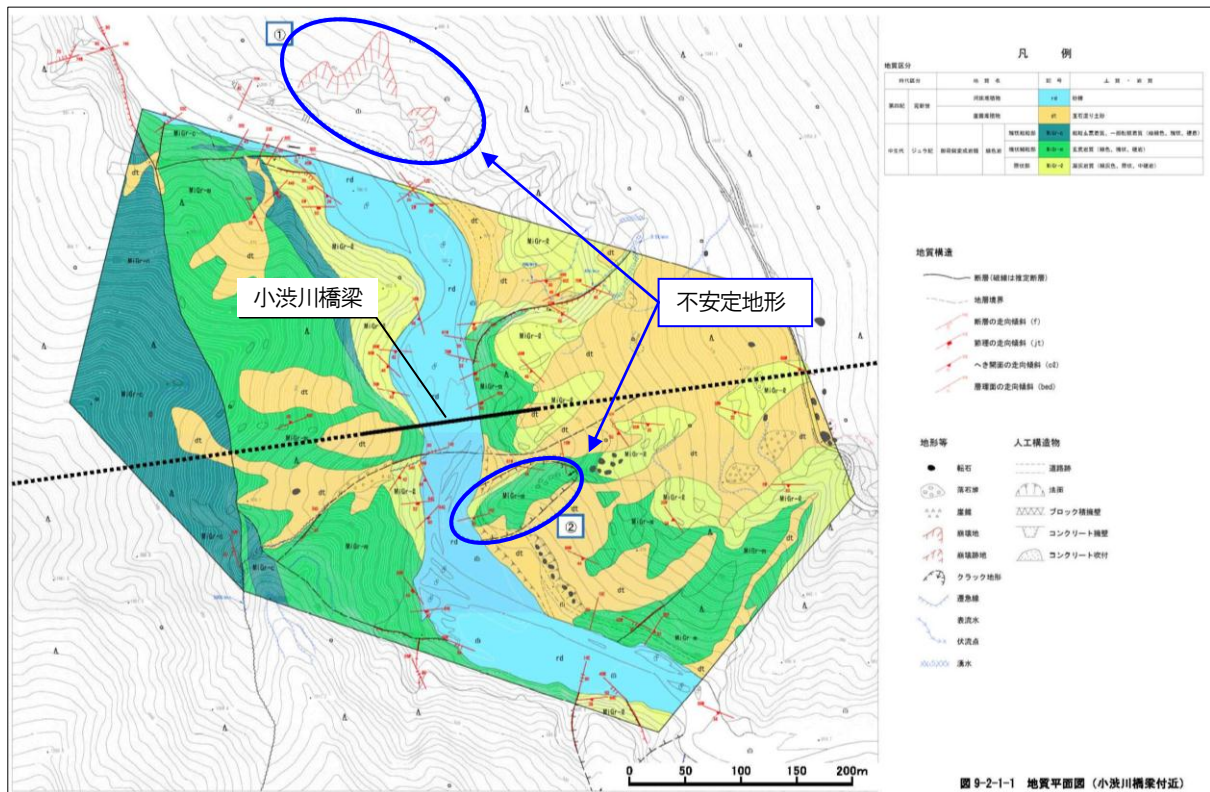
(注) 上記事業は、必ずしも地権者や近隣住民等の了解を得たものではありません。また、保安林解除等の法的手続きが可能かどうか未判明です。従って、本書記載の事業が実際の活用先になるとは限りません。

2. 大鹿村内における地形・地質調査結果を記載しました。

大鹿村内の路線及び施設は、これまでの詳細な地形・地質調査結果や専門家の意見を踏まえ不安定地形を回避する計画としておりますが、今回、その根拠となる地形・地質調査結果の詳細を資料編に記載しました。

(評価書資料編【長野県】事9-35ページ)

地質平面図 (小渋川橋梁付近)



3. ミゾゴイ、ブッポウソウ等についてこれまでの確認調査結果を記載しました。

知事意見等を踏まえ、大鹿村釜沢地区やミゾゴイ、ブッポウソウ等について確認のための調査を実施しており、これまでの調査結果を資料編に記載しました。

引き続き調査を実施し、調査結果を踏まえ、必要によりモニタリングを行い、生息環境へ影響を及ぼす可能性がある場合は環境保全措置を実施していきます。

(評価書資料編【長野県】環 14-4-1 ページ)

確認調査の対象としている動物

調査項目		調査手法	備考
大鹿村釜沢 (A地区)の 動物	哺乳類 一般鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類 魚類 底生動物	重要種全般	任意確認等 長野県知事意見により実施
鳥類	一般鳥類	ミゾゴイ	任意確認
		ブッポウソウ	定点調査法
	希少猛禽類	オオタカ(喬木村ペア) ノスリ(大鹿村Aペア、 大鹿村Bペア、飯田市 ペア) クマタカ(大鹿村Aペア)	営巣地調査 事業により影響の可能性があるため実施
昆虫類		ミヤマシジミ	任意採集 長野県知事意見により実施
山岳トンネル上部における沢周辺の動物	哺乳類 一般鳥類 爬虫類 両生類 昆虫類 魚類 底生動物	重要種全般	任意確認等 山岳トンネル上部における沢周辺において、重要な動物が生息する可能性があるため実施

・大鹿村釜沢地区における確認結果

重要種が確認されたが、周辺における確認状況と同様であった。

・ミゾゴイの確認結果

ミゾゴイは、大鹿村内において合計 1 例、改変の可能性のある範囲から相当離れた地域で鳴き声が確認された。また、大鹿村内の相当離れた地域において古巣が 1 箇所確認された。今後は得られた結果について専門家の助言を踏まえ、必要に応じて環境保全措置の実施を検討する。

・ブッポウソウの確認結果

ブッポウソウは、中川村内において 3 ペア、合計 11 例、繁殖行動等が確認された。このうち、1 ペアについては営巣地が確認された。今後は、平成 26 年度夏季にも継続して調査を実施し、得られた結果について専門家の助言を踏まえ、必要に応じて環境保全措置の実施を検討する。

4. 猛禽類に対する環境保全の取り組みを具体的に記載しました。

環境大臣意見を踏まえ、オオタカ（喬木村ペア）、クマタカ（大鹿村Aペア、Bペア、Cペア）に対する環境保全措置の取り組みを具体的に記載しました。

（評価書【長野県】8-4-1-125 ページ）

喬木村オオタカペアについての検討の状況

オオタカ（喬木村ペア）の営巣中心域を計画路線が通過することとなるが、平面線形は超電導リニアの技術的制約条件に加え、飯田市の恒川遺跡群全域や中央アルプス南縁部の風越山及び風越公園をできる限り回避するよう設定していること、また営巣中心域全体をトンネルで通過する場合、縦断線形を下げる必要が生じ、天竜川の渡河や地上駅の設置が困難となることから、計画路線を変更し当該エリアを回避するのは困難と考えている。

一方、営巣中心域は概ねトンネルで通過するとともに、営巣地からみて改変の可能性のある範囲は小尾根を挟んだ反対側であり営巣地からは直接見通せない。そのうえ営巣中心域や高利用域周辺は、既に家屋、建造物及び車道等の人工物が存在するなど人が行動する範囲及びその近傍であり、工事による改変範囲もそのような場所に計画していることから、繁殖環境への影響は小さいと考えられる。また、当該ペアの主な採餌環境は改変の可能性のある範囲の外側であり、主な採餌環境は確保される。

こうした状況を踏まえ、営巣中心域や高利用域の改変をできる限り小さくするよう、工事施工ヤード内に設置する設備やその配置の工夫などにより、工事に伴う改変範囲を小さくし、影響を回避・低減していく。合わせて防音シート、低騒音・低振動型の建設機械の採用及び離れた場所から工事を開始するなどのコンディショニング、工事従事者に対して不用意に林内へ立ち入らないよう指導を徹底していくことなどにより、影響の低減を図る。また、代償措置として、専門家等の助言を踏まえて代替巣等の設置を行うこととしている。

今後は、工事開始までの継続的な確認調査及び工事開始後の事後調査を実施して生息状況の確認を行い、工事に対する影響の程度を把握し、改変区域のすぐ近傍において営巣が確認された場合には、施工順序の見直しや工事工程の調整を行い繁殖への影響の大きな時期に騒音等の少ない作業を実施するなどの措置についても専門家等の助言を踏まえ検討していく。